

# 社会保険労務士からの三方一両得だより

平成30年1月20日 第100号

## 「手打そば かみやま」に行ってきました

気が付けばこの事務所だよりも第100号の発行を迎えました。これもひとえに、勝手にメールで送り付けることをお許しいただいている皆様、感想をお寄せいただいた皆様、その昔あまりにリアクションが少なくて発行を辞めてしまった時に「楽しみにしてるのに・・・」と再開を促していただいたお客様のおかげと感謝しております。本当にありがとうございました。とりあえず第200号の発行を目指して、今後もネタ作りにあちこち出かけてきます。

先月末に年越しそばを食べようということで、久々に「手打そばかみやま」に行ってきました。ご存知の方もいらっしゃるでしょうが、旧葛生町の街中から車で20分程秋山川に沿って走った



空気はきれい。

ほとんど何もない山奥にあります。こんな場所にありながらも客足の絶えない人気店です。

サラリーマン時代にはかなりの頻度で通っていましたが、相変わらず冷たいそばは美味しかったです。天ぷらも絶品です。というか、もしかするとそばよりも天ぷらが人気かもしれません。初めて頼んだ鶏のてんぷら

も非常に美味しかったです。

寒かったので妻が温かい山菜そばを注文したのですが、これはダメでした。しょっぱ過ぎて全身に鳥肌が立ちました。

これだけの人気店ですから何かの間違いだとは思いますが。がんばれかみやま、しっかりしろかみやま！



調子に乗って頼みすぎました。



我が家の畑  
ハウスなど持っていない家庭菜園愛好家としては、真冬はあまりやることはありません。というわけで毎年恒例の粗起こしをしました。スコップ一本で、ひたすら畑の上下を入れ替えるのですが、数分続けるだけで汗が流れ始めます。去年までであれば三十分もやっていると腰が痛くて投げ出していたのですが、筋トレを続けている効果か二時間続けて作業ができ、全面を起すことができました！やればできた！

## ◆今後求められる企業の福利厚生とは？

一般社団法人日本経済団体連合会が実施した、「2016 年度福利厚生費調査結果」（回答企業数:676 社、労務構成:平均年齢 41.8 歳）によると、企業が負担した福利厚生費（法定福利費と法定外福利費の合計）は、従業員 1 人 1 カ月平均 111,844 円（法定福利費 86,622 円、法定外福利費 25,222 円）となりました。

「法定福利費」は 7 年連続増加し、過去最高額となっています。これは厚生年金保険料率が毎年上昇していましたから、当然の結果だといえます。

また、「医療・健康費用」の法定外福利費に占める割合が 12.5%と約 50 年ぶりの高水準となり、同調査では、法定外福利費の抑制傾向が続く中にあっても、健康経営を重視している姿勢が伺えると指摘しています。

2015 年 12 月から義務化されたストレスチェックへの対応や健康経営の高まりに伴い、労働安全衛生法に基づく健康診断費や人間ドックに対する補助費である「ヘルスケアサポート」が増加していることも指摘されています。

同調査は毎年実施されており、福利厚生費の構成内容も時代にあわせて年々変化している様子が読み取れますが、法定福利費の見直しについては、現在の雇用状況下において、中小企業でも必要となっているところ。現実的に、市場価格を上回る給与を支払うことのできる企業は少数だといえますので、他社と差別化し、人材確保の意味でも、福利厚生を検討することは今後必要なところ。です。



マイケル・ページ・インターナショナル・ジャパン株式会社が、日本で勤務している会社員約 300 名を対象に「最も求められている福利厚生」について聞いた調査によると、「休暇」が最も望まれているという結果が出たそうです。以下、「フレックスタイム」「住宅手当、社員寮、社宅」「健康診断」と続いています。

今後は、従業員の実際のニーズを読み取りながら福利厚生を検討していく必要があります。そうです。